



ひめじ市民法律事務所

# 市民法律だより

## 暑中お見舞い申し上げます。

6月下旬の運河公園を散歩して、ヤマモモを手のひら一杯拾ってきました。絵はがきの上にごろがし、アジサイの花弁を水皿に散らして、そばに置き、心の筆を執ります。

夏が近づき、また71年前のあの日のことを思います。5月の終わりにオバマさんがヒロシマで語った言葉は、詩のように感じました。

“われわれは過去の過ちを繰り返すよう遺伝子によって縛られているわけではない。われわれは学ぶことができる。われわれは選択することができる。われわれは子どもたちに異なる話をすることができ、それは共通の人間性を描き出すことであり、戦争を今より起きにくくすること、残酷さを受け入れることを今よりも難しくすることである。

だからこそ、われわれは広島に来たのだ。われわれが愛する人々のことを考えられるように。子どもたちの朝一番の笑顔のことを考えられるように。”

こういうことを述べることのできる総理を、私たちも、持ちたい。「わが国の伝統」を、柔らかく優しく生ける者と呼吸し合う普遍的な平和の価値と結びつけて、弱い立場の者を励まし、強きをくじくことのできる新時代の総理を、私たちも、持ちたいですね。

なんでも、今年の夏は、普段よりも少し暑く雨が多いんだそうです。皆さまが、この夏を元気で爽やかに過ごされますよう祈念して、事務所からのご挨拶と致します。

2016年 盛夏  
ひめじ市民法律事務所 所 員 一 同

### 発行責任者

〒670-0952 姫路市南条10-4

ひめじ市民法律事務所

所長 弁護士 平 田 元 秀

弁護士 吉 谷 健 一

電話 079-282-0430

FAX 079-282-0433

<http://himejishimin.com/>

### 事務所営業時間

月～金 午前9時30分

～午後6時

土曜日 午前中 予約相談あり

### コンテンツ

暑中見舞い	1
弁護士の小話	2
弁護士のよもやま話	3
事務所行事(スキー)	4
事務所行事(花見)	4
事務所員アンケート	5
見つけたよ こんなお店	6
編集後記&休みのお知らせ	6

# 「SHIELDSの次は 誰が変える？」



平田 元秀

この「小話」コーナーでは、半年に一度、自分の頭の中を少し整理することにしていて、本当に吾ながら勝手気儘なコラムになっているなあ、読者をお付き合いさせて申し訳ないなあ、と思っています。

い い い い い

今は参議院選挙のまただ中ですが、この便りが届くころには結果は出ています。今の日本の政治思潮を上手く代表しているのは、ちょっと古いですが池上彰・佐藤優の「大世界史」(2015年10月)だと思っています。確かにいま世界は大きな時代の転換期を迎えていて、あちこちで既存の秩序が揺れ動いて、世界が不安定化し、先行きが見通しにくくなっています。折しも、6月24日、イギリスが国民投票でEU離脱を決めました。トランプ氏の勢いと、立憲主義をめぐる日本の雰囲気と、イギリスの国民投票の結果には、「じりっと文明が後退する感じ」の後味があります。佐藤優の「新しい帝国主義」というキーワードは、再び多極化しつつある国家と政治を捉えるのに、確かに有効と感じます。

もっとも、2016年の夏には、5月27日のオバマ演説のインパクトが存在します。ヒロシマ・ナガサキと響きあう平和思想の普遍性を、アメリカ大統領が個人の身をもって語った。それは日本国憲法前文の心でもあるわけですが、同時に、その前文の草案を起草したGHQ民政局のハッシー(Alfred R. Hussey, Jr.)ら起草委員の心とも通底するものです。

彼らは、「すべての国家を拘束する基本的な政治道徳がある旨を認めることは、50年以内に自明の真理と認められるようになるであろう。」「いや100年後だ。」という議論をしています(2003年7月衆院憲法調査会事務局作成資料)。ハッシー氏やオバマ氏が述べたことは、その通りだと思うし、いくら「世界が不安定化」していても、大局的な方向性を確信を持って見通すことは、可能というべきです。問題は、常にその方向性に向かって、地道なヒットを着実に打っているかです。

オバマ氏はこういいました。「われわれは戦争そのものについての考えを改めなければならな

い。外交によって紛争を防ぎ、始まってしまった紛争を終える努力をするために。増大していくわれわれの相互依存関係を、暴力的な競争でなく、平和的な協力の理由として理解するために。破壊する能力によってではなく、築くものによってわれわれの国家を定義するために。そして何よりも、われわれは一つの人類として、お互いの関係をもう一度想像しなければならない。」—そう言いつつ、アメリカ政府は現実には何をしているのか—その声はもちろん聞こえます。でも、ここで私は政治家個人としての「彼」の発信に着目し、「私」の胸に手を当てながら、「あなた」にも着目しているのです。

い い い い い

私は、最近、絵が気になってきて、日本人にとって一番分かりやすいオランダ絵画や印象派から始めて、じわじわ世界が広がっていく感覚があります。人と絵の話をしていて最初に聞こえてくるのは、「優れた作品は予備知識など持たずに見ても十分に楽しめる」とよくいうじゃないか。でも、フェルメールやレンブラント、モネやルノアールやゴッホならそうだとすると、ピカソの、本当に再統合されていない<あの絵>はどうなんだ、というやつですね。それに対しての私の答えは、「意外と、こういうのはなかったんだよ。」です。それから、『「ジャポニズム」が19世紀の西洋美術を一世風靡した』なんてというが、「あれは何だったんだ」というやつですね。そこで私が言うのは、「本当に、意外とこういうのはなかったんだ。」です。新しい絵のあり方を、発見して、描いて、絵の世界を変えていく。それは、必ず、変える責任を引き受けようとする個人から始まる仕事です。

20年後には当たり前のことでも、世界の中で、個人が、出会って、始めて、行動して、変えて、次のステップに行ける。その産みの苦しみの時代に、今、「私」も「あなた」も生きているのです。

い い い い い

2015年の日本の夏を変えたのは“SHIELDS”です。では、「次は誰が変える？」。

# 弁護士のよもやま話

弁護士 吉谷 健 一

## 『課外授業へ行く』

弁護士として仕事をしていると、色々な場所で仕事絡みの話をする機会も出てきます。

弁護士会の行事の関係で広報活動をしたり、ラジオ番組でお話ししたり、憲法関係で講演したり、内容は様々ですが、基本的にどれも大人向けのお話ばかりでした。

そのような中で、ふとしたきっかけで、近くの姫路市立山陽中学校の中学1年生の皆さんに話をしに行くことになりました。

兵庫県下の中学校では、『トライやる・ウィーク』といって、課外授業で職場体験をするという期間があるのですが、その準備となるキャリア教育として、そもそも大人がどのような仕事をしているのか、社会に必要なこととは何か、色々な職業に就いている大人から話を聞くという試みが持ち上がり、弁護士として話をしに行くことになったのです。

学校に行ってみると、パティシエさんやら旅行会社の人やら、色々なお仕事の方々が集まっていました。

それこそ、パティシエさんや旅行会社などは、子どもにもイメージしやすい仕事でしょうが、弁護士となるとどうだろうかという不安はあります。

周りをみると、何やら仕事に使う小道具などを持ってきていたりして、準備のよさに少し慌てましたが、スケジュール手帳を片手に色々な種類の事件を一般化した話や、弁護士会のことなど、できるだけ分かりやすくなるよう心がけて話すようにしました。

大学のころの90分授業の感覚に慣れると、50分授業はあっという間ですが、生徒さんからの質問も受け付けます。

弁護士というと、最近のテレビドラマもありますが、やはり刑事弁護というイメージが強い

のでしょうか、まず出てきた質問は、

「元プロ野球選手の清原の裁判はどうなるのでしょうか？」

というものでした。

薬物の初犯の量刑相場は…などという話は教育上いかなものかとも思ったので、再犯しないかどうか裁判官は色々な点から鋭くチェックしていますよと無難にコメントしました。

すると、次の質問もやはり刑事事件で、

「野々村議員の弁護人だったらどうしますか？」と質問されました。

裁判所に呼び出されても出頭しないなど、奇行の目立つ野々村議員ですが、ああいう被告人を私選事件で受任すると、信頼関係を作ることがかなり難しいことが予想されますので、そもそも依頼されても受任しないだろうと回答しました。

「何億円積まれても受任しませんか？」というスレた感じの質問が出なくてよかったです。

しかし、そこで補足して、「お医者さんは患者さんの受診を断ることはできないけれども、弁護士は私選弁護なら断ることもできますからね」などと軽い余談で付け加えたのがよろしくありませんでした。

後日、生徒の皆さんから感想文を頂戴しました。こういうフィードバックがあると、話をする側としても嬉しいものです。

そして読み進めていったところ、ある生徒さんの「弁護士は仕事を自由に選ぶことができるのだと分かりました」という感想文が目に入りました。

「先生、一体何を話してきたのですか？」という事務局のツッコミに、こういう話の経緯があって…と説明するのも言い訳のようで微妙な感じです。

子どもに話をするときは気をつけなければならないと考えさせられた一コマでした。



## 事務所行事(スキー)

今年の冬の事務所行事は、奥神鍋へスキーに行ってきました。当日はあいにくの天気でしたが、今回はひめじ城下町法律事務所の横山先生、押田・森岡法律事務所の押田先生、森岡先生にも参加して頂き、賑やかに出発しました。車を北へ走らせるも雪景色は見られず、心配しながらも到着。アップ神鍋スキー場は雪不足で営業していませんでした。さぁ滑るぞ~ということで、ペアルックの押田先生と森岡先生は仲良くお二人で雨のゲレンデへ。スキーは初めてとおっしゃられる横山先生は平田先生とマンツーマンで。残る我々は初級から中級コースで滑り始めました。今回のスキーが人生3回目の私は、同じく3回目のはずの娘の後をついて行くのがやっとでしたが、前回よりは転ぶ回数も減り、リフトから降りるのも怖くなくなり、前回よりもたくさん滑ることが出来ました。いつかフワフワのパウダースノーで風を切って滑ってみたいです。ずぶ濡れでお宿に戻り、食事の後は深夜までカラオケ大会を楽しみました。

翌日は出石に寄って、豊岡市立美術館と出石家老屋敷を見学し出石そばを堪能した後、宗鏡寺を見学して帰路につきました。

【川】



## 事務所行事(お花見)

今年は天気恵まれ、絶好のお花見日和でした。昨年グランドオープンした姫路城は青空の下で本当に美しく、久しぶりにお城を眺めながら満開の桜を楽しみました。

知る人ぞ知る？動物園の片隅は、お城とお堀と桜のコントラストが素晴らしく、たくさんの方が写真を撮っていました。私がお城とは逆方向から象の姫子と桜と一緒に納めようとシャッターチャンスを狙って粘ったのですが、姫子はそんなことにはお構いなく、ゆうゆうとお尻を向けていました。残念!!

ちょうどお花見のころ『焼肉ドラゴン』という鄭義信脚本・演出のお芝居を観ました。

大阪万博のころの関西のとある街を舞台に、焼肉店を営む在日コリアン夫婦家族と常連客達が織りなす、賑々しくて笑いあり涙ありの作品です。

結局、中学生の息子は学校になじめず屋根から身を投げ、長女と次女は夫と共に北と南に分かれて旅立ち、三女は新たな家庭を築き、焼肉店は強制立退きになって、最後は家族ばらばらになってしまいます。夫婦が自分の店を去る日、暖かい風が吹く満開の桜の花吹雪の中で、最後にお父さんが「いい心持ちだ。こんな日は明日が信じられる。」と。

歴史に翻弄され、いろんな複雑な思いがありながらも、それぞれが前を向いて懸命に生きていこうとする姿に心打たれました。観客総立ちの、最近観たお芝居の中で最も印象に残っている作品です。

桜の季節は美しく、ワクワクと同時に何故だか少し哀しくて、そんなことを思い出しながら脱線してしまいました。

【美】



# 事務所員アンケート

今年は4年に一度の**オリンピック**  
そこでみなさんに質問です。

**4年前の自分と比べて今の自分、どう変わりましたか？**  
**今の自分と比べて4年後の自分、どうありたいですか？**

4年前も今も10kmマラソンを愛する遅走者です。3年前加古川マラソンで10km51分を切ったので、調子に乗って2年前の冬、ホノルルでフルマラソンを走りました。やられました。膝を痛め、痛風まで出ました。無理をしてはいけません。ぼちぼち走るのがいいのです。4年後もその後もずっと走り続けていきたいですね。

【平】

4年前は子どもの学校の役員をしながら毎日慌ただしく過ごしていました。今年末っ子も大学生になり手を離れたので、今学んでいることやチャレンジしたいことなど、これからは自分にとって本当に意味のあることを厳選していきたい。

【美】

事務所報でも幾度か登場させていただいている我が家の猫たち。やんちゃざかりで、彼たちがやってきた当時に比べると、お世辞にも家がキレイとは言えなくなりましたが、笑いと癒やしを与えてくれる彼たちに感謝しつつ、次のオリンピックの年にも「猫のいる不便さ」を楽しんでいられそうですように。

【溝】

私の息子。4年前は小学生、反抗期があったような、なかったようなまだまだ一緒に出かけてもくっついてもらえるかわいい男の子でした。それが現在高校生、口数も少なく、もうおっちゃんです。4年後は成人式を迎え、大人の仲間入り。もう一緒に出かけてはくれないだろうな。今度は私が子離れし独り立ち成長しなくては(>\_<)

【ひ】

4年前はこちらの事務所でお世話になる前で、幼稚園でお仕事をさせていただいていました。

そちらでは主に園庭の管理をしていたので、毎日のように花や樹木の世話をして過ごしていて、外の空気や季節の移り変わりを感じながらの日々でした。最近は忙しくて、外に出掛ける機会が少なくなってしまっているので、少しずつ外に出たいと思っています。

【川】

## 4年前の自分、4年後の自分

4年前というと、私が姫路に来て当事務所で勤務し始めたころですが、ペーパードライバーだった当初と比べると、車の運転や駐車場の出し入れにはだいぶ慣れてきました。

もっとも、最近、一旦停止義務違反を取られてしまいましたので、ここ4年はゴールド免許を取り戻すべく運転に気を付けていきたいと思っています。

【吉】



# ～見つけたよ 小さなお店～

今回ご紹介するお店は、姫路信用金庫駅南支店の東隣にある「パティスリー アリス・エレーヌ」というケーキ屋さんです。

昨年の10月にグランドオープンを迎えたばかりの新しいお店です。お店に入ると、丁寧に作られたケーキと、可愛くラッピングされた焼き菓子が目に飛び込んできます。

お店を訪れて感じたことは、なんと言っても首藤シェフの人柄が、とっても素敵なことです。高校卒業後にアルバイトで行ったケーキ屋さんがきっかけで、パティシエの道に進まれたとか。

お店には、低糖質の商品や希少糖などの素材にこだわったシェフのオリジナル商品も多く、食べてみたい商品がたくさんあるのですが、看板商品である「フォンダンショコラ」と「白姫(しろひめ)」を紹介させていただきます。

「フォンダンショコラ」は、そのままでも美味しいのですが、電子レンジで温めると、中のチョコレートクリームが「とろ～り」と溶け出



して、口に入れると濃厚なショコラが広がり、幸せな時間が流れます。

「白姫」は、その名のとおり、白くて可愛いチーズのカップケーキです。半熟の焼きチーズにリンゴorイチジクがアクセントになっていて、女性は、絶対に好きです。

個人的には「ショコラオレンジジュマロン」がオススメです。ケーキの底に、ざくざくのチョコタルトが敷いてあって、その上にオレンジジュショコラとオレンジマロンのムース！が最高の組み合わせです(^^)／

お店では、オーダーメイドのバースデイケーキもあり、今週の新作ケーキが、随時、登場しているようですので、ぜひチェックしてみてください。

お店から歩いて2分のところにある喫茶店「クレヨン」さんにケーキを持ち込んで、いただくこともできるので、そちらも覗いてみてくださいね。

(溝)

## 編集後記

梅雨も明け、盛夏を迎えて皆さんいかがお過ごしでしょうか？  
市民法律だより13号、これまではランチのお店を私たちが楽しみながらご紹介してきましたが、今回は食後やティータイムに欠かせないデザートのお店を紹介させていただきました。今後も色々なお店をご紹介させていただきたいと思います。

暑い夏、みなさんお体ご自愛ください。(ひ)

## 〈事務所お盆休みのお知らせ〉

8月1日(月)～2日(火):事務所行事

8月11日(木)～14日(日):お盆休み

のため、お休みとさせていただきます。